

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	このこのアート		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 1日		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられる。	児童の障害特性はもちろんですが、学校での様子、友達関係などの情報を支援にいかしています。 あと、支援には家庭環境、家族関係を大変重視しています。	これまで同様、児童の家庭環境、家族関係、学校での様子などを個別支援計画の骨子にしていくための情報収集に務めていきます。
2	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されています。	児童に対する支援だけでなく、その先の生活に関する情報も児童とだけでなく家族と共有している。 児童に対する支援でご家族が孤立しないよう、コミュニケーションをとっている。	月に一回、児童会議を開き、児童の家族、児童の将来に向けたサポートを話し合っています。
3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられる。	弊社は支援の中にアートによる、自分表現、楽しさを取組んでいます。その中で自分を表現し、アートに対する興味があれば、より専門性のある支援を行います。	アートコンテストへの出展などを行い、児童が他人からの評価を受け、劣等感を少しでも無くす取組みを行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている。	児童の支援以上に家族に対するサポートの必要性を感じていますが、どうしても取組みが児童に対するものだけに なってしまいます。	日曜日に非公式にて、保護者同伴でのアート教室を開催
2	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、兄弟向けイベントの開催等により、兄弟同士の交流の機会が設けられるなどの支援	家族の中で児童が孤立している場合や、またはご家庭で児童が暴れたりすることが多々あります。そのため、ご家庭、ご兄弟、ご姉妹などの接点を事業所が担うことにより、より児童への支援を行いやすくする。	日曜日に非公式にて、保護者同伴でのアート教室を開催
3	事業所では非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要その他な訓練が行われているか。	地震だけではなく、台風、大雨など、最近の気候変動はこれまででない災害をもたらします。	あらゆる災害が支援中におこった場合に備えて、訓練を行い、児童だけでなく職員にも支援中に災害がおこった場合の想定をおこなう。